

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【公表番号】特表2010-519194(P2010-519194A)

【公表日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【年通号数】公開・登録公報2010-022

【出願番号】特願2009-549471(P2009-549471)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)  
 A 6 1 K 48/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 35/12 (2006.01)  
 A 6 1 K 35/74 (2006.01)  
 A 6 1 K 36/06 (2006.01)  
 A 6 1 K 35/76 (2006.01)  
 A 6 1 P 37/08 (2006.01)  
 A 6 1 P 11/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 11/06 (2006.01)  
 A 6 1 P 11/02 (2006.01)  
 A 6 1 P 17/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 17/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 1/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 27/14 (2006.01)  
 A 6 1 K 38/00 (2006.01)  
 C 0 7 K 16/42 (2006.01)  
 C 1 2 P 21/08 (2006.01)  
 C 1 2 N 15/09 (2006.01)  
 C 1 2 N 1/15 (2006.01)  
 C 1 2 N 1/19 (2006.01)  
 C 1 2 N 1/21 (2006.01)  
 C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00  
 A 6 1 K 39/395 N  
 A 6 1 K 48/00  
 A 6 1 K 35/12  
 A 6 1 K 35/74  
 A 6 1 K 35/72  
 A 6 1 K 35/76  
 A 6 1 P 37/08  
 A 6 1 P 11/00  
 A 6 1 P 11/06  
 A 6 1 P 11/02  
 A 6 1 P 17/00  
 A 6 1 P 17/04  
 A 6 1 P 1/04  
 A 6 1 P 27/14  
 A 6 1 K 37/02  
 C 0 7 K 16/42 Z N A

C 1 2 P 21/08  
C 1 2 N 15/00 A  
C 1 2 N 1/15  
C 1 2 N 1/19  
C 1 2 N 1/21  
C 1 2 N 5/00 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月1日(2011.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

免疫グロブリンEとの結合に関して抗体33と競合する、免疫グロブリンEに特異的な単離された結合要素。

【請求項2】

RBL-ER51細胞中25ng/mlのIgEにより誘発されるカルシウムシグナル伝達阻害のIC<sub>50</sub>幾何平均が1nM未満である、請求項1に記載の単離された結合要素。

【請求項3】

カルシウムシグナル伝達阻害のIC<sub>50</sub>幾何平均が0.2nM未満である、請求項2に記載の単離された結合要素。

【請求項4】

CDR:HC DR 1、HC DR 2、HC DR 3、LC DR 1、LC DR 2およびLC DR 3のセットを含み、該CDRセットが参照CDRセットから8以下のアミノ酸置換を有し、

HC DR 1が配列番号279のアミノ酸配列を有し；

HC DR 2が配列番号280のアミノ酸配列を有し；

HC DR 3が配列番号281のアミノ酸配列を有し；

LC DR 1が配列番号284のアミノ酸配列を有し；

LC DR 2が配列番号285のアミノ酸配列を有し；

LC DR 3が配列番号286のアミノ酸配列を有する、

ヒト免疫グロブリンEに特異的な単離された結合要素。

【請求項5】

前記アミノ酸置換が5以下のアミノ酸置換である、請求項4に記載のヒト免疫グロブリンEに特異的な単離された結合要素。

【請求項6】

CDR:HC DR 1、HC DR 2、HC DR 3、LC DR 1、LC DR 2およびLC DR 3のセットを含み、HC DR 3が配列番号281のアミノ酸配列を含む、単離された結合要素。

【請求項7】

CDR:HC DR 1、HC DR 2、HC DR 3、LC DR 1、LC DR 2およびLC DR 3のセットを含み、該CDRセットにおいて、

HC DR 1が配列番号279のアミノ酸配列を有し；

HC DR 2が配列番号280のアミノ酸配列を有し；

HC DR 3が配列番号281のアミノ酸配列を有し；

LC DR 1が配列番号284のアミノ酸配列を有し；

L C D R 2 が配列番号 2 8 5 のアミノ酸配列を有し ;  
L C D R 3 が配列番号 2 8 6 のアミノ酸配列を有する、  
請求項 4 に記載の単離された結合要素。

【請求項 8】

以下の置換 :

- H、L または S で置換された K a b a t 残基 9 5 ;
- I、S、T、W または F で置換された K a b a t 残基 9 6 ;
- A、Y または F で置換された K a b a t 残基 9 7 ;
- V、P または F で置換された K a b a t 残基 9 8 ;
- A または Y で置換された K a b a t 残基 9 9 ;
- G、I または S で置換された K a b a t 残基 1 0 0

の 1 以上を有する抗体 1 H C D R 3 (配列番号 5) を含む、単離された結合要素または V H ドメイン。

【請求項 9】

モノクローナル抗体である、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の結合要素。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の単離された結合要素をコードする単離された核酸分子。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の核酸分子で形質転換された宿主細胞。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の単離された結合要素を生産する方法であって、請求項 11 に記載の宿主細胞を該結合要素の生産のための条件下で培養することを含む、方法。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の単離された結合要素と薬学上許容される賦形剤とを含む、医薬組成物。

【請求項 14】

薬剤として用いるための、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

I g E に関連する障害を処置するための、請求項 13 の組成物の使用。

【請求項 16】

前記障害がアレルギー、喘息または気管支炎の 1 以上である、請求項 13 に記載の組成物の使用。

【請求項 17】

前記障害がアレルギー性鼻炎、アレルギー性接触性皮膚炎、アトピー性皮膚炎、アナフィラキシー反応、食物アレルギー、蕁麻疹、炎症性腸疾患、好酸球性胃腸炎、薬剤性発疹、アレルギー性眼症、アレルギー性結膜炎、気管支喘息、気道過敏症、化粧品アレルギー、薬剤性アレルギー、薬剤性過敏性症候群、金属アレルギー、職業性過敏性肺炎、慢性過敏性肺炎、寒冷過敏症、蠕虫感染誘発性過敏症、ラテックスアレルギーおよび枯草熱の 1 以上である、請求項 13 に記載の組成物の使用。